

エビデンスベースの政策形成のための科学技術 イノベーション政策形成実務研修 2015

【趣旨】

文部科学省企画評価課では、エビデンスに基づく政策の企画立案・評価プロセスの改善と充実を図るため、科学技術イノベーション政策における「政策のための科学」を推進しています。

この一環として、政策担当者が、政策立案に携わる上で必要とされる実務に役立つ知識、評価・分析手法等についてコンパクトに学習できる研修プログラムの開発に着手いたしました。

政策担当者においては、最新の状況についての知識は得ている一方、諸テーマについての体系的・俯瞰的な知見、理論的・歴史的背景に関する知見、計量分析の理解が不十分な場合が少なくありません。

そこで、本プログラムでは、科学技術イノベーション政策における政策立案の実務に資するため、最低限必要となる知識を短期間で学べる機会を提供することを目的としています。

今年度は、試行的な短期研修プログラム（全8回及びラップアップセミナー。また適宜補講も実施予定。）を開催することとしており、今後に向けての改善意見等を得ることも目的としています。

【受講対象】

文部科学省職員及び政府機関関係者（特に、入省3-5年目程度の方、科学技術系部局に初めて着任された中堅クラスの方を中心に、科学技術イノベーション政策に関する基本的知識を必要とする方を想定。）

【期間】

平成27年11月～平成28年2月（全8回及びラップアップセミナー また適宜補講を実施）

【場所】

文部科学省内の会議室（各回毎にご案内します。）

【参加方法】 講義ごとの登録制

※但し当日の飛入り参加/途中参加も可能です。

【主催】 文部科学省科学技術・学術政策局企画評価課（担当：小石原）

【協力】 SciREX 基盤的研究・人材育成拠点

総合拠点：政策研究大学院大学（全体オーガナイザー：小山田和仁氏）

領域開拓拠点：東京大学、一橋大学、大阪大学・京都大学、九州大学

文部科学省科学技術・学術政策研究所

科学技術振興機構社会技術研究開発センター

科学技術振興機構研究開発戦略センター

（委託先：三菱総合研究所）

エビデンスベースの政策形成のための科学技術イノベーション政策形成実務研修 2015 全体構成案

- 全回を通じての参加が理想ですが、各回単発の参加でも理解できるように設計しています。
- 講師都合等により、開講時期が前後することがあります。開催日程については、決まりましたら、追ってご連絡いたします。

分類	タイトル	講師(予定)	開催時期	学習の目標(狙い)	内容(予定)
全体像の理解	研修全体の趣旨・目的	赤池伸一氏 (文部科学省) 小山田和仁氏 (政策研究大学院大学)	【開催済】 平成 27 年 11 月 16 日 (月) 18:30- 20:30	研修の趣旨及び政策形成における課題を理解する。	● エビデンスに基づく政策形成の実現のための課題について
	第1講 ナショナル・イノベーション・システムと科学技術・イノベーション政策	伊地知寛博氏 (成城大学) 赤池伸一氏 (ファシリテーター)		それぞれ独自の背景を持つ海外事例を参照しながら、説得的に、わが国における政策の在り方を主張できる力を備える。	● イノベーションの概念と政策として重視されるに至った背景、STI 政策の理論的根拠 ● ナショナル・イノベーション・システム(NIS)の構成 ● 日米欧の NIS の特徴と歴史的背景 ● NIS と STI に係る政策形成・行政評価等の枠組み
イノベーションの理解	第2講 企業におけるイノベーションと STI 政策	青島矢一氏 (一橋大学) 坂本修一氏 (ファシリテーター)	平成 28 年 2 月 16 日 (火) 18:30- 20:30	企業のイノベーションプロセスを理解し、STI 政策に適用する力を身につける。	● 企業のイノベーションのプロセス ● 企業のイノベーションに対して研究開発や科学的知見が貢献するメカニズム ● イノベーションモデルの歴史的変遷 ● 企業のイノベーションへの政策の貢献 等
	第3講 技術分野別のイノベーションの特性と STI 政策	亀井信一氏 (三菱総研)	調整中	技術分野ごとに異なるイノベーションの特徴、基本的な用語の理解を踏まえて、政策立案できる力を備える。	● 分野別のイノベーションの特徴(創業の場合、材料の場合、情報通信機器の場合等) ● 分野別のイノベーションに対する STI 政策の貢献 等
政策の俯瞰的理解	第4講 日本の科学技術政策史	國谷実氏 (JISTEC) 吉村哲哉氏 (三菱総研) 坂下鈴鹿氏 (ファシリテーター)	【開催済】 平成 27 年 12 月 7 日 (月) 18:30- 20:30	昔の政策の成り立ちを理解し、現在の政策に生かす知見を身につける。	● 戦前から現代に至るまでの日本の発展の歴史と、科学技術政策の変遷 ● 1980 年代、「基礎研究ただ乗り論」にわが国はどう対応したか 等
	第5講 STI 政策における各種制度とその源流	永田晃也氏 (九州大学) 橋本俊幸氏 (ファシリテーター)	【開催済】 平成 27 年 12 月 4 日 (金) 18:30- 20:30	イノベーションの実現に向けて、文科省以外の政策も含めた、具体的な方策を議論できる力を身につける。	● 科学技術イノベーション政策の対象範囲 ● 公共財の理論 ● 科学技術イノベーション政策の体系 ● 研究開発に対する資源配分の最適化／研究開発活動の活性化／研究開発成果の活用・普及
科学と社会・政策	第6講 STI 政策とガバナンス	城山英明氏 (東京大学) 斉藤卓也氏 (ファシリテーター)	平成 28 年 1 月 12 日 (火) 18:30- 20:30	適切なステークホルダーに働きかけ、政策の実現を進められる力を備える。	● STI 政策のステークホルダー ● 国の政策形成プロセス ● テクノロジーアセスメント ● リスク管理 等
	第7講 科学技術統計、科学計量学、経済効果分析における注意点	山野宏太郎氏 (三菱総研) 伊神正貴氏 (NISTEP) 奥篤史氏 (ファシリテーター)	平成 28 年 1 月 29 日 (金) 18:30- 20:30	数字の真の意味を理解し、説得力のある政策形成ができるデータ活用力を身につける。	● 政策立案・戦略策定などに利用可能な科学技術統計データおよび留意点 ● 科学計量学の見方、注意点 ● 経済効果分析の見方、注意点 等

第8講	科学技術と社会	八木絵香氏 (大阪大学) 中川尚志氏 (ファシリテーター)	平成28年 1月20日 (水) 18:30- 20:30	社会に開かれた科学技術に向けた知見を身につける。	<ul style="list-style-type: none"> ● 科学技術コミュニケーション ● 倫理的・法的・社会的問題(ELSI) ● 事例検討 等
-----	---------	--	--	--------------------------	---

<ラップアップセミナー>

「エビデンスベースの政策形成に向けてー政策形成と政策研究の共進化（仮）」

【主な内容（予定）】

本セミナーでは、研修の学習内容を踏まえ、エビデンスベースの政策立案のための課題についてミニセミナーを実施し、その後、参加者の方からの発表、及び講師と参加者の方とのディスカッションの開催を予定しています。具体的な課題については、研修の際にお知らせします。

また、セミナー開催後、懇親会の開催も予定しております。

【講師（予定）】

有本 建男 政策研究大学院大学 科学技術イノベーション政策研究センター
(SciREX センター) 副センター長

角南 篤 SciREX センター 政策デザイン領域 プログラム・マネージャー

黒田 昌裕 SciREX センター 政策分析・影響評価領域 プログラム・マネージャー

森田 朗 SciREX センター 政策形成プロセス実践領域 プログラム・マネージャー

【日時】

平成28年2月中